

30人が集結コスプレ珍道中！

2011年8月15日（月）第64回おびひろ平原まつりにて、今年も「コスプレ珍道中！」を開催しました。今年はなんと30名ほどのコスプレイヤーが北海道の各方面から集まり、賑わいをみせました。

集まってくれたコスプレイヤーの方々は、普段とは違う野外のイベントで、沢山の方と交流ができ楽しかったと言ってくれました。ひよこデザインのスタッフも、ジブリの作品、パイレーツオブカリビ안의ジャックスパロウ、不思議の国のアリスなど、有名な映画作品のキャラクターのコスプレをしました。スタンブラリーも好評で、200枚の台紙がお昼過ぎには無くなり、新しい絵柄の缶バッジも好評で、貰ってすぐに、服やカバンに付けてくれているのを見てとても嬉しくなりました。（宗岡）



子供達も大喜びでした！



参加してくれた方達と集合写真！



一般の方とも触れ合いできました。



参加者も楽しんでくれたみたいです。

初開催ひよこカフェ

8月15日11：00～藤丸の南横をお借りして、十勝の生産物を使った

「ひよこカフェ」を1日だけオープン！メニューは「エゾシカサンドとブルーベリージャムサンドのセット」「マフィンセット」セットに付く飲み物は「ゴボウ珈琲」か「八列とうきび茶」です。マフィンも「まる麦&とうもろこし」「じゃがいも&たまねぎ」「チーズ&トマト」の三種類を用意、他にもぶどうの木さんのクッキーを数種類販売しました。エゾシカ肉のサンドイッチというあまりなじみの無いメニューにお客様は最初、疑心暗鬼な様子で購入されていましたが、店頭の前で食べていた方は「柔らかくて美味しい」といつてくださいました。味付けも、できるだけエゾシカのお肉の味分かるように、塩コショウとバジルのみというシンプルなもので、エゾシカ肉の臭み、ではなく、風味と

して味わっていただけたのではないかと思います。（宗岡）



エゾシカ肉のサンドイッチです。



飲み物はごぼう珈琲と八列とうきび茶



ひよこカフェの外観はこんな雰囲気でした

なんと金賞2位！

盆踊り！

8月15日、16日2日間にかけて、あうるずひよこデザインプロジェクトで参加しました。コスプレの姿で、オリジナルのダンスを披露しました。雨にも関わらず、沢山のお客さんが見ているなかで、カッコいい、可愛いなどお声をいただけて、励みになりました。盆踊りは、なんと「金賞2位」という賞を頂きました。少人数での参加だったのですが、斬新な振り付けや、一緒に参加してくださった皆さんのコスプレの

クオリティなども評価されたのではないのでしょうか。（宗岡）



盆踊りは残念ながら雨でしたが、楽しかったです。



金賞2位とってガッツポーズ！

写真集 (MobileMe)

<http://>

gallery.me.com/

kikusada#101171&bgcolor=black&view=grid

帯広平原まつり

<http://>

[www.](http://www.obikan.jp/cgi-bin/kanko/matsuri.cgi?no=1)

[obikan.jp/cgi-bin/kanko/](http://www.obikan.jp/cgi-bin/kanko/matsuri.cgi?no=1)

[matsuri.cgi?no=1](http://www.obikan.jp/cgi-bin/kanko/matsuri.cgi?no=1)

小麦生産日本一音更で小麦を楽しむ

「麦感祭2011」

小麦生産量全国一の音更で小麦を楽しむ「麦感祭2011」が2011年8月21日に音更町のたけなかファームで開催されました。麦感祭は、小麦生産量が日

本一の音更町ですが、小麦に囲まれて暮らしながら、生活の中で音更産小麦を感じる機会がほとんどありませんでした。小麦の収穫祭というものもなく、もっと小麦を身近に感じられるようなイベントができないかと地元若手生産者有志らが初めて企画しました。イベントの部では、麦わらロール転がし、音更高書道部による小麦の筆を使い「書道パフォーマンス」、トラクター試乗会も行いました。飲食部門では満寿屋商店や帯広の「レストラン・オレンジ」のまる麦のリゾット、手打ちうどんが提供されました。ひよこはチラシや会場のデザインや事務局などを担当しました。（市来）



麦感祭は大盛況でした！



十勝の飲食店から音更の小麦を使いパン、リゾット、うどんなどの小麦の飲食物が提供されました。



麦の詩を歌う音更のアーティスト流さん

写真集 (Facebook)

<http://>

[www.](http://www.facebook.com/media/set/?set=a.275581025792316.87840.10000212613006&l=6db22bef12&type=1)

[facebook.com/media/set/?](http://www.facebook.com/media/set/?set=a.275581025792316.87840.10000212613006&l=6db22bef12&type=1)

[set=a.](http://www.facebook.com/media/set/?set=a.275581025792316.87840.10000212613006&l=6db22bef12&type=1)

[275581025792316.87840.100](http://www.facebook.com/media/set/?set=a.275581025792316.87840.10000212613006&l=6db22bef12&type=1)

[000212613006&l=6db22bef1](http://www.facebook.com/media/set/?set=a.275581025792316.87840.10000212613006&l=6db22bef12&type=1)

[2&type=1](http://www.facebook.com/media/set/?set=a.275581025792316.87840.10000212613006&l=6db22bef12&type=1)

北海道・十勝たけなかファーム

<http://>

[www.](http://www.rakuten.co.jp/takenaka-farm/)

[rakuten.co.jp/takenaka-farm/](http://www.rakuten.co.jp/takenaka-farm/)

ますやパン (満寿屋商店)

<http://www.masuyapan.com/>

シンガーソングライター「流」さん ブログ

<http://nagare.us/index.php>

<http://www.toyama-nojo.net/>

「アグリスタ」

お披露目

ファッションショー！

2011年8月7日にとがちむらの一周年イベントに合わせて、十勝リアルウェアプロジェクトでつくったブランド

「AGRISTA」の作業着お披露目ファッションショー「とがちコレクション Vol.0」が開かれました。

「十勝リアルウェアプロジェクト」は、自信とプライドを持ってかつこよく働くための作業着をつくらう！と昨年の11月から始動しました。会議を重

ねてやっと第一弾の作業着が完成し、この日みなさんにお披露目することができました！ ファッションショーでは、「AGRISTA」以外にもLEEなどのブランドの作業着、プロジェクト代表の長岡さんのお店FLAVORのオリジナルブランド作業着など、機能的でありながらオシャレ！な作業着が勢揃いしました。当日は急遽ひよこデザインプロジェクトからも2名モデルとして出させていただくことになり、初めての経験にかなり緊張！でも始まると緊張もほぐれて楽しめました♪ お客さんからは「作業着かついいね！」という反応をいただいて嬉しかったです。

「AGRISTA」の作業着は9月中頃からの発売を予定していますので、是非みなさん手にとって見てください。帯広市西1条南9丁目2-4 (広小路内) 「FLAVOR」で取り扱っています。

(菊池)



ポーズを決めるあうずの森



モデル大集合！

十勝リアルウェアプロジェクト

<http://>

[ameblo.jp/](http://ameblo.jp/tokachirealwearproject/)

[tokachirealwearproject/](http://www.flavor-tokachi.com/)

FLAVOR

<http://>

www.flavor-tokachi.com/

「おやせな」主催、 Field Agrication参加

2011年7月18日 (月・祝)、芽室町のファームクロダにて、十勝おやじの背中を超える会 (通称「おやせな」) 主催のField Agricationが開催されました。Agricationとは、農業を通してコミュニケーションするという意味の造語です。今回は「農業と旬の美味しい関係」というテーマで、農家しか知らない旬の食材「若いも」をメイン食材として、農業を感じてもらおう、そして、若手農家と話すことで知ってもらおうという趣旨のもと、「若いも」を収穫して食べる会が開催されました。

じゃがいもの旬として知られている「秋」、越冬して熟成させてから出荷される「冬」、そして知られざる3番目の旬「夏」。農家の方は夏のじゃがいものを「若いも」と呼んでいます。集まった参加者みんなで畑に行き、まだ青々としているじゃがいもの茎を引っ張って収穫。その場で茹でて、「おやせな」のみなさんが考えたじゃがいも用のソースやトッピングでいただきました。その中に、「まる麦」という麦を使ったトッピングがあったのですが、それにはひよこデザインプロジェクトが関わっています。まる麦は、普通は粒のまま出回ったりすることはない、地元の人にとっても馴染みのない食材なのですが、「おやせな」はこの

まる麦を使ったレシピ本を作って、まる麦の認知度を向上させよう、と企画しています。そのレシピ本の制作に、ひよこデザインが携わっています。今回のイベントのお土産のひとつとして、参加者全員に配られました。今回のField Agricationでは、若いじゃがいものみずみずしさと、おやせなのみなさんの「自分たちの仕事をもっと知ってほしい!」という情熱の両方が、参加者全員に伝わったと思います。

(久保田)



ひよこデザインメンバーの森。
じゃがいもを片手に笑顔です!



じゃがいもにトッピングソースを
掛けていただきました。



ひよこデザイン制作のまる麦レシピ本。
プロのシェフ考案のまる麦レシピが
29品載っています。

十勝おやじの背中を超える会 (主催)

[http://
www.shokukyu.jp/wp/](http://www.shokukyu.jp/wp/)

ファームクロダ (会場になった農場)

[http://
www12.plala.or.jp/ostrich/
menu.htm](http://www12.plala.or.jp/ostrich/menu.htm)

べんぞう商店 リニューアル オープン!

8月18日、べんぞう商店がリニューアルオープンしました。昭和46年現在の電信通り商店街振興組合が作られ、平成22年40周年を迎えた年に北海道表彰『いつてみたい商店街&お店』第四回大賞に選ばれたこともあるべんぞう商店。「べんぞう商店」は障がいを持ってしまった市民が障害福祉事業として商店を経営する方法として立ち上げられています。

今回リニューアルした店舗にはバリアフリー仕様の店舗に改装を行い、車いすでも入店可能とし、トイレの使用も可能、車いすの方々と住民にトイレ使用をサービス。そして松崎、徳島、大分の商品を住民が必要とする日用食料と帯広ゆかりの地域特産品のアンテナショップとして販売しています。

(宗像)



べんぞう商店で売っている商品。



べんぞう商店リニューアルオープンチラシ

電信通り商店街振興組合

[http://
www.denshindoori.com/](http://www.denshindoori.com/)

【告知】

100kmを歩く旅! とかちロングトレイル クラシック2011

今年の秋もやって来ました。十勝を4日間かけて100kmを歩く旅『とかちロングトレイルクラシック2011』が開催されます。今年は9月23日(金・祝)～26日(月)の4日間で北海道十勝西地方の上士幌、士幌、鹿追、新得、清水を渡り歩きます。

とかちロングトレイルは単に歩くだけでなく、十勝の自然を肌で感じ、写真や映像では分からない広大で美しい風景をに見ることができます。食事に関しても地元の食材を地元の味を知

る人によって、趣向を凝らしたメニューを考えています。その他にも一緒に歩く仲間や土地の人と交流することで、旅はより楽しむことができるものでしょう。

一昨年から続いて第3回目となる今年は、新しい企画として3つのオプションプラン、両手両足をフルに使って楽しく歩く『ノルディックウォーキング』、十勝川の激流を下る水上トレイル『ラフティング』、風の中を走り抜ける歩くのとは違う世界を楽しむ『自転車トレイル』を楽しむことができます。今年もご参加頂ける方を心待ちにしております。(森)



とかちロングトレイル
クラシック2011チラシ



昨年度トレイルの様子

あうるず代表から 「動機のデザイン」

動機が不純と言いますが、不純の反対の「純粹」というのがどんな参加の方法なのか私にはわかりません。

昔の話ですが、私より10歳くらい上の世代の学生運動では多くの内ゲバがありました。

詳しくはわかりませんが、先輩達に聞いたところでは「動機が不純」や「思想の不一致」などが理由かと推測されます。それで、多くのセクトができ、さらに仲間内でけんかを始めました。

でも、敵は違うところにいたはずです。

私はこれを「小山の大将おれひとり」と言っています。「お山の大将」なら多くのコブンを従えたガキ大将・・・のイメージですが、小山の大将は違います。大将になりたいために山をつくったのですから、コブンは2～3人で十分です。人をあつめて小山をつくるのが目的なのでそれで目的は達成している、コブンを集めた際に主張したはずの大義名分は達成できないかもしれません。おそらくそれでもかまわないのでしょう。

私はNPOで活動する「動機を問わない」と言っています。行政、企業など参加する各人の動機「社会貢献がしたい」「ひとかどの人物と思われたい」「親として社会活動をみせておきたい」「職場で社会活動していることを評価してもらいたい」。

それぞれ能力の異なるひとが一生懸命やるのであれば、目的に近づくので大歓迎です。

問題は目標に近づく努力をしないで、加わっている事が目的の人もあります。何か利益を受け取る(名誉であれ、活動実績であれ)のであれば活動はして、目標に近づかなくてはなりません。

どんな仕事でもそうですが、目標に達するには厳しさがが必要です。中尾半端な動機や、明確に意識されていない動機は目標に近づく努力ができないことが多いので途中から参加できなくなります。するとどうなるか？嫉妬する。

コーディネイターはこのようなネガティブな心の動きを推測し、相手の立場を理解して「活動できる動機」を提供することが必要です。

私はこれを「動機のデザイン」と名付けました。(菊池 貞雄)

あうるず菊池貞雄ブログ

<http://kikusada.blogspot.com/>



2011年8月6日～7日オホーツク

おこっぺ町バイオマスライブにて

発行：コミュニティシンクタンク

あうるず

北海道帯広市東2条南4丁目10番地

TEL：0155-67-6305

FAX：0155-67-6307

MAIL：npo_ctt_owls@netbeet.ne.jp

URL：<http://www.owls.ne.jp/>